

平成31年度から令和3年度までの実施施策に係る政策評価書

(防衛省31～3-⑩)

施策名	大規模災害等への対応					
施策の概要	大規模災害等の発生に際しては、国民の生命・身体・財産を守るため、所要の部隊を迅速に輸送・展開し、初動対応に万全を期するとともに、必要に応じ、対応態勢を長期間にわたり持続する。また、被災者や被災した地方公共団体のニーズに丁寧に丁寧に対応するとともに、関係機関、地方公共団体及び民間部門と適切に連携・協力し、人命救助、応急復旧、生活支援等を行う。					
達成すべき目標	①大規模災害等発生時、所要の部隊を迅速に輸送・展開し、初動対応に万全を期するとともに、必要に応じ、対応態勢を長期間にわたり維持 ②被災者や被災した地方公共団体のニーズに丁寧に寄り添った対応をするとともに、関係機関等と適切に連携・協力し、人命救助、応急復旧、生活支援等を実施					
施策の予算額・執行額等	区分	平成31年度	令和2年度	3年度	4年度	
	予算の状況 (百万円)	当初予算(a)	0	0	0	0
		補正予算(b)	<3,542,827>	<3,650,566>	<3,596,545>	<3,611,900>
		繰越し等(c)		0	0	
		合計(a+b+c)		<3,960,527>	<4,300,810>	
執行額(百万円)		0	0			
		<3,900,867>	<4,256,593>			

※ 下段( )外書きは、複数の政策にまたがる予算及び複数の政策にまたがる整理できる予算であり、総額の「内数」で掲記している。  
※ 令和2年度に現政策体系に応じた予算の組み替えを実施済であるため、平成31年度については予算額のみ記載している。

施策に関する内閣の重要政策 (施政方針演説等のうち主なもの)	中期防衛力整備計画(平成31年度～平成35年度) Ⅲ-3大規模災害等への対応
-----------------------------------	---

測定指標	1. 各種災害に対して万全を期すための取組み						
	目標	実績値(累積値)			参考値	目標値	達成
	輸送機(C-2)の整備 (5機)	平成31年度	令和2年度	3年度	4年度	5年度	
		2機(2機)	-(2機)	2機(4機)		5機	
	予算要求値(累積値)	2機(2機)	-(2機)	2機(4機)	-(4機)		③
	目標	実績値(累積値)			参考値	目標値	達成
	新多用途ヘリコプターの 導入(34機)	平成31年度	令和2年度	3年度	4年度	5年度	
		6機(6機)	-(6機)	20機(26機)		34機	
	予算要求値(累積値)	6機(6機)	-(6機)	20機(26機)	-(26機)		③
	施策の進捗状況(実績)					目標	達成
【平成31年度から令和3年度までの主な実績】 ●海上自衛隊においては、以下の項目を実施した。 ・哨戒ヘリコプター(SH-60K)搭載電子機器整備用構成品の整備を実施した。 ・哨戒ヘリコプター(SH-60K)の補用エンジンを整備した。 ・機体定期修理及びエンジンオーバーホールを実施した。 ・機能部品を再使用可能な状態とするための役務を実施した。 ・各種作戦の効果的な遂行による周辺海域の防衛や海上交通の安全確保等を実施し得るようになるため、搭載武器等を着実に整備し能力を発揮し得るような態勢を維持・構築した。 ・海上自衛隊における部隊運用機能の向上を図るため、補給処、造補所、部隊等の運営、施設機械等の維持、艦船の行動、爆発兵器類の処理、弾薬類の維持等に必要な材料等の購入等を実施した。 ●陸上自衛隊においては、以下の項目を実施した。 ・多用途ヘリコプター(UH-2)を整備した。 ・輸送ヘリコプター(CH-47JA)3機を計上した。 ●航空自衛隊においては、以下の項目を実施した。 ・輸送機(C-2)、救難ヘリコプター(UH-60J)及び空中給油・輸送機(KC-46A)を取得し、輸送力の向上を図った。					その他の装備品等 (延命処置・機能向上を含む。)(関連シート①、②、③)	③	

	施策の進捗状況(実績)	目標	達成	
測定指標	<p>【平成31年度から令和3年度までの主な実績】</p> <p>●平成31年度における対応状況は以下のとおり。          急患輸送:365件 捜索救助:12件 消火活動:46件 風水害・震災への対応:7件 その他:19件          なお、同年に発生した8月の前線に伴う大雨(九州北部豪雨)に係る災害派遣においては、現地活動人員延べ約7,500人(後方活動も含めた人員延べ約32,000名)、艦艇延べ約30隻、航空機延べ約50機を、同年9月に発生した令和元年房総半島台風に係る災害派遣(台風第15号)では、現地活動人員延べ約54,000人(後方活動も含めた人員延べ約96,000名)、艦艇延べ約20隻、航空機延べ約20機を、同年10月に発生した令和元年東日本台風に係る災害派遣(台風第19号)では、現地活動人員延べ約84,000人(後方活動も含めた人員延べ約880,000名)、艦艇延べ約100隻、航空機延べ約1,610機を、令和2年1月に発生した新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に係る災害派遣では、現地活動人員約延べ8,700人(後方活動も含めた人員延べ約20,000名)派遣し対応に当たった。また令和元年4月以降、12県18市町村における山林火災に係る災害派遣では、人員延べ約61,000名、車両延べ約520両、航空機延べ約180機を派遣し消火活動の対応に当たった。さらには、令和元年4月以降、4県8市町村における特定家畜伝染病(豚熱)に係る災害派遣では、人員延べ約11,100名、車両延約1,690両を派遣し、豚の殺処分等の対応に当たった。</p> <p>●令和2年度における対応状況は以下のとおり。          急患輸送:349件 捜索救助:7件 消火活動:33件 風水害・震災への対応:11件 その他:131件          なお、同年に発生した令和2年7月豪雨に係る災害派遣においては、現地活動人員延べ約61,000人(後方活動も含めた人員延べ約350,000名)、艦艇延べ4隻、航空機延べ約270機、車両延べ約13,000両を派遣し、人命救助、道路啓開、生活支援等の対応に当たった。また令和2年3月から5月の間、新型コロナウイルス感染症の水際対策強化に係る災害派遣においては、現地活動人員延べ約8,700人、車両延べ約1,500両を派遣し、検疫支援、宿泊療養者に対する緊急支援、輸送支援等の対応に当たった。さらには、令和2年11月から令和3年2月の間、11県における鳥インフルエンザに係る災害派遣においては、人員延べ約34,000名、車両延べ約4,200両を派遣し、鳥の殺処分等の対応に当たった。</p> <p>●令和3年度における対応状況は以下のとおり。          急患輸送:315件 捜索救助:5件 消火活動:24件 風水害・震災への対応:9件 その他:30件          なお、同年に発生した令和3年7月1日からの大雨に係る災害派遣においては、現地活動人員延べ約11,000人(後方活動も含めた人員延べ約27,000名)、航空機延べ約30機、車両延べ約3,500両を派遣し、人命救助、道路啓開等の対応に当たった。</p>	緊急患者の輸送、消火支援、自然災害、特殊災害(原子力災害)への対応	③	
		<p>【平成31年度から令和3年度までの主な実績】</p> <p>●平成31年度においては以下のとおり防災訓練を実施したほか、地方公共団体が主催する防災訓練に参加し、緊密な連携・協力体制の強化に努めた。          ・自衛隊統合防災演習(JXR)(令和元年5月)の実施          ・離島統合防災訓練(RIDEX)(令和元年9月)の実施          ・日米統合防災訓練(TREX)(令和2年2月)の実施          ・政府主催の各種防災訓練(令和元年9月防災の日総合防災訓練等)への参加</p> <p>●令和2年度においては以下のとおり防災訓練を実施したほか、地方公共団体が主催する防災訓練に参加し、緊密な連携・協力体制の強化に努めた。          ・日米共同統合防災訓練(TREX)(令和3年2月)の実施          ・政府主催の各種防災訓練(令和2年9月防災の日総合防災訓練等)への参加</p> <p>●令和3年度においては以下のとおり防災訓練を実施したほか、地方公共団体が主催する防災訓練に参加し、緊密な連携・協力体制の強化に努めた。          ・自衛隊統合防災演習(JXR)(令和3年5月)の実施          ・離島統合防災訓練(RIDEX)(令和3年11月)の実施          ・日米統合防災訓練(TREX)(令和4年2月)の実施          ・政府主催の各種防災訓練(令和3年9月防災の日総合防災訓練等)への参加</p>	地方公共団体との連携した訓練の実施、計画の策定を推進	③
		<p>【平成31年度から令和3年度までの主な実績】</p> <p>●平成31年度においては、台風第15号における家屋被害状況の確認、台風19号における災害廃棄物集積所の全景撮影等を実施した。また、山梨県道志村行方不明者捜索(9月26日~28日)における行方不明者捜索等に活用した。なお、平成31年度に186式(372機)を配備した。</p> <p>●令和2年度においては、7月豪雨における被害状況の情報収集や行方不明者の捜索活動等を実施した。また、北海道函館市恵山における行方不明者捜索(5月17日~18日)等に活用した。なお、令和2年度に102式(102機)を新規調達した。</p> <p>●令和3年7月1日からの大雨における人命救助活動に活用した。</p>	災害用ドローンなどを活用した対処態勢の強化	③

評価結果	(各行政機関共通区分)	③相当程度進展あり
	<p>目標達成度合いの測定結果</p> <p>(判断根拠)</p> <p>●輸送機(C-2)の整備、新多用途ヘリコプターの導入等、目標としていた機数の整備に向けて計画的に実施しており、目標に向かって着実に進展している。</p> <p>以上のことから、相当程度進展ありと判断した。</p>	

評価結果	施策の分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>●各目標に対して、以下の取組により施策の進捗に寄与 <ul style="list-style-type: none"> <li>・輸送機(C-2)4機、輸送ヘリコプター(CH-47JA)3機及び多用途ヘリコプター(UH-2)26機の計上による目標達成に向けた着実な配備の実施</li> <li>・各種装備品等の着実な整備</li> <li>・各種災害派遣に対する適切な対応の実施</li> <li>・防災訓練の実施及び地方公共団体が主催する防災訓練への積極的な参加</li> <li>・災害ドローンの取得</li> </ul> </li> </ul>
	次期目標等への反映の方向性	<p>①大規模災害等発生時、所要の部隊を迅速に輸送・展開し、初動対応に万全を期するとともに、必要に応じ、対応態勢を長期間にわたり維持 令和2年7月豪雨に係る災害派遣、新型コロナウイルス感染症の水際対策強化に係る災害派遣、鳥インフルエンザにかかる災害派遣、緊急患者輸送等、引き続き、大規模災害等発生時に所要の部隊等を展開し、国民の生命・身体・財産を守るため、初動対応に万全を期するとともに、対応態勢を長期間にわたり持続できるよう取り組んでいく。</p> <p>②被災者や被災した地方公共団体のニーズに丁寧に寄り添った対応をするとともに、関係機関等と適切に連携・協力し、人命救助、応急復旧、生活支援等を実施 地方公共団体が主催する防災訓練に参加し、緊密な連携・協力体制の強化、また、行方不明者捜索に災害用ドローンの活用や整備など、引き続き、関係機関等と連携協力し、人命救助等に取り組んでいく。</p>

学識経験を有する者の知見の活用	施策は順調に進展しており、特に意見なし。
政策評価を行う過程において使用した資料その他の情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 防衛省ホームページ</li> <li>○ 防衛白書(令和元年～3年)</li> <li>○ 我が国の防衛と予算(平成31年～令和3年)</li> </ul>

担当部局名	整備計画局、統合幕僚監部及び防衛装備庁	政策評価実施時期	令和4年6月
-------	---------------------	----------	--------

※ 「測定指標の達成欄」及び「評価結果」の「(各行政機関共通区分)欄」については、達成状況を以下の5段階区分の数字を記入。

①目標超過達成、②目標達成、③相当程度進展あり、④進展が大きくない、⑤目標に向かっていない